

令和6年6月3日

墨 田 区 長
山 本 亨 様

墨田区協治（ガバナンス）まちづくり
推進基金審査会会長 松 本 潔

令和5年度における協治（ガバナンス）まちづくり推進基金からの
助成事業（すみだの力応援助成事業・すみだの夢応援助成事業）の
評価について（答申）

令和4年6月6日付け4墨地地第320号をもって貴職より諮問のありました事項のうち、下記事項に関して結論を得ましたので、別紙のとおり答申します。

記

1. 令和5年度における協治（ガバナンス）まちづくり推進基金からの助成事業（すみだの力応援助成事業・すみだの夢応援助成事業）の評価について

(別紙)

令和５年度にすみだの力応援助成金を交付した３事業及びすみだの夢応援助成金を交付した５事業の評価について審議した結果、以下のとおり意見をまとめました。

■すみだの力応援助成事業【ステップアップ応援コース】（３事業）

	団体名	事業名	助成額(円)
1	一般社団法人 SSK	立花一丁目団地みちあそび	500,000
	(意見) 定期的な開催により、自治会や地域食堂などとの連携を広げ、少しずつ地域に根差した活動となっている点を評価する。また、子どもたちに継続的に外遊びの機会を提供している点も意義があり評価できる。一方で、事業の目的の一つである多世代コミュニティの醸成に対する効果が見えづらかった。アンケートなどにより参加者の意見を吸い上げ、今後に向けて改善していけると良い。シニア層や外国籍の方をどう巻き込み交流していくか等も考えながら、事業の充実と継続性を高めていくことを期待する。		
2	特定非営利活動法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会	すみだの江戸野菜・寺島なすを広めたい 第２回「寺島なす★祭り」の開催事業	450,000
	(意見) 寺島なす普及のための飲食店との連携は大きな成果であり、事業を通じて区内外で様々な協力関係を広げていることを評価する。寺島なすをブランド化していくためには、区民における認知度を高めていくことも重要であるため、苗の販売や学校での出前授業など、一層の周知活動を行っていくとともに、寺島なすのブランド化に取り組む SNS コミュニティを作るなど、新たな取組も求められる。これまでの事業実績を踏まえ、さらなる協力連携団体との交流を深め、新たな切り口でも事業を展開されることを期待する。		
3	すみだ未来枠	新・すみっこ探検隊！	500,000
	(意見) 区民が地域を知り、愛着を持つためのまちあるきは大切な取組である。また、協力連携団体との関係づくりにも力を入れた点が事業に反映されており工夫が感じられた。学生が主体となり、若年層が地域活動に関わる機会となっていることも評価できる一方で、持続可能な体制をつくり継承していくことも重要であるため、常に活動の課題やノウハウの引継ぎをしっかりと行っていくことが求められる。さらに、成果の検証を行い、充実した活動に反映されていくことを期待する。		

■すみだの夢応援助成事業（5事業）

	団体名	事業名	助成額(円)
1	特定非営利活動法人 声とことばの力	シニア・こども・大学生 様々な世代をつなぐ 日常的な多世代交流の場を創生する～SUMIDA こども未来応援団プロジェクト～	1,036,000
	（意見） 少子高齢化社会において「多世代交流の場」の形成に貢献し、シニアとこどもとが一緒に楽しめる場を創出しようとした点を評価する。世代間の橋渡し役となる「未来プレゼンター」の育成に向けたワークショップを開催するなど、今後の事業継続への基盤も強化できたと思われる。より幅広く長きに渡って事業を展開していくためにも、学生のみならずシニアと学生の間世代や、その地域に暮らす方々を「未来プレゼンター」の担い手として育成していくことも望まれる。また、独居高齢者やこのような場に来られないような方へのアプローチも検討されたい。		
2	公益財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団	新日本フィル「音楽の力で人とまちを元気に」プロジェクト	53,512,890
	（意見） 毎年事業内容を工夫・進化させながら、多くの区民に音楽を親しむ場を提供し続けており、地域還元性や活動への共感性の高さが寄付額にも表れている点が、すみだの夢応援助成事業の一種の成功例であると評価する。向嶋墨堤組合との連携により実施した「見番コンサート」は、墨田区の伝統文化とクラシック音楽との新たな融合であり、今後も音楽の持つ可能性をさらに引き出すような新たな試みを打ち出していくことを期待する。様々な事業を安定して展開できているので、今後は音楽が区や区民にもたらした効果についての検証も望まれる。		
3	特定非営利活動法人 Chance For All	こどもたちが自分の意思で選べるあそび場 を墨田区に	4,090,958
	（意見） こどもの自主性を尊重するだけでなく、初回参加時に「ケンカの大学」で人との関わり方を学んだ上で「あそび大学」へ参加するといったような、こどもの育ちにも有益となるような工夫を取り入れながら事業を展開している点を評価する。昨年と比較すると参加者数が倍増し協力連携先や支援者も着実に増えていることから、事業が認知され定着しつつあるので、今後は区内の様々なエリアへの展開を期待する。現在拠点としている千葉大学においても、大学内で完結するのではなく、例えば周辺町会等の地域とのつながりを構築することも必要である。		

	一般社団法人つながる橋	「北斎も食べた!？」大江戸健康総菜 キッチンを創ろう!	352,000
4	(意見) 商店街と協力連携しながら事業を実施し、商店街の活性化を始め、文化の継承（昭和初期の建築様式の長屋、江戸時代の料理）や区民の健康増進といった複合的な成果を創出した点を評価する。今回整備されたシェアキッチンを活用しながら、継続的に料理教室や健康総菜の開発が行われ商店街の活性化に寄与していくことを期待する。スペースの関係上、事業参加者が少数に留まるといった課題に関しては、オンライン配信の活用や、商店街で店舗経営する方を対象に講座を行い各店舗からも発信していただくなど、より効果的な実施方法の工夫が望まれる。		
	一般社団法人 SSJF	～両国エリアをもっともっともりあげたい～ 2023 両国ランブリングアベニュー	844,000
5	(意見) 両国の魅力を伝え両国を活性化させるという明確な目的のもと、多数の地元企業や施設、町会等との協力関係も深めつつ、地元住民だけでなく観光客も共に楽しめる大規模イベントを成功させた点を評価する。今後も協力連携先とのコミュニケーションを継続しながら、活用していないエリアや地域資源のさらなる開拓を期待する。地域の特性上、外国人観光客も多く訪れるため、広報の際には外国人向けの SNS を配信する等の工夫も望まれる。一過性のイベントで終わることのないよう、開催時期によらず継続して両国の魅力を発信するよう期待する。		

■全団体への意見

(意見) ・寄付金を原資とした助成金であるため、公益的な成果を示すことが必要となる。実施内容の報告だけでなく、当該事業の実施により、地域活性化において目的としていた効果を得られたかどうか、具体的に検証することが重要である。また、今後どのように活動を発展させていくのか、展望をもって事業を進めていくことが望まれる。 ・コロナ禍を経てデジタル化が急速に進展したが、地域活動においてもリアルとオンライン各々の良さを取り入れて実施することが望まれる。
